

令和5年4月28日

学生各位

理事（学務・社会共創担当）・副学長
吉澤史昭

ChatGPT等生成AIの修学上での利用について

ChatGPT等の生成AIについては、昨今のニュースなどでも報道されているとおり、その利用に際しては様々なメリット、デメリットが指摘されているところです。

ChatGPT等の生成AIは人工知能の一種であり、自然言語処理技術を利用して自然な言葉遣いでの会話が可能で、コンピューターとのコミュニケーションがよりスムーズとなり、より多くの情報を効率的に取得できるようになるのが特徴です。

また、ChatGPT等の生成AIを利用することで、種々のタスクを代替・補助し、時間やコストを削減するとともに、大量の文章の分類や要約、広範なトピックについての様々な質問に対応できるというメリットが期待されています。

こうしたメリットに対して、ChatGPT等の生成AIは、学習に利用されたデータに基づいて応答するため、データにバイアスや偏見が存在する場合があります、それが反映され、正確性に欠ける応答がある場合があります。特に、複雑な問題や複数の文脈を含む場合は、応答が不正確になることがあります。

また、ChatGPT等の生成AIを利用することで、個人情報や機密情報が自動的に処理される場合があります、その結果、著作権やプライバシーの侵害などに問題が発生する可能性があります。したがって、個人情報や機密情報をChatGPT等の生成AIへ入力・送信しないでください。

以上のように、ChatGPT等の生成AIには多くのメリットがある一方でデメリットも存在することから、適切な使用範囲と制限を理解し、それに従って適切に活用することが大切です。

ChatGPT等の生成AIで作成された文章をそのまま書き写して、レポートや学位論文を作成することは、不適切な利用とみなし、場合により不正行為として対処されることもありますので、注意してください。学修上で利用する場合は教員の指示を受けてください。